

太平洋セメントの都市ごみ焼却残さのセメント資源化システムは、
数々の栄誉ある賞を受賞。
その先進性、環境保全性は高く評価されています。

2002年 第3回 さいたま環境賞 受賞

2002年 日経 優秀先端事業所賞 受賞「熊谷工場」

セメント工場

- 
- ① 上磯工場 (焼却灰の資源化事業稼働)
〒049-0193 北海道北斗市谷好1-151
TEL.0138-73-2111
- ② 大船渡工場 (焼却灰の資源化事業稼働)
〒022-0007 岩手県大船渡市赤崎町字跡浜21-6
TEL.0192-26-2111
- ③ 熊谷工場 (焼却灰・ばいじんの資源化事業稼働)
〒360-8904 埼玉県熊谷市三ヶ尻5310
TEL.048-532-2831
- ④ 埼玉工場 (AKシステム事業稼働)
〒350-1296 埼玉県日高市大字原宿721
TEL.042-989-1111
- ⑤ 藤原工場 (焼却灰・ばいじんの資源化事業稼働)
〒511-0593 三重県いなべ市藤原町東禅寺1361-1
TEL.0594-46-2511
- ⑥ 大分工場 (焼却灰・ばいじんの資源化事業稼働)
〒879-2471 大分県津久見市合ノ元町2-1
TEL.0972-82-3111
- 上磯工場
2013年4月
焼却灰資源化事業開始
- 藤原工場
2004年3月
ばいじん資源化事業開始
2017年4月
焼却灰資源化事業開始
- 大船渡工場
2015年4月
焼却灰資源化事業開始
- 熊谷工場
2001年7月
焼却灰・ばいじん資源化事業開始
2019年11月
焼却灰の水洗処理開始
- ⑦ 明星セメント(株) 糸魚川工場
〒941-0064 新潟県糸魚川市大字上刈7-1-1
TEL.025-552-2011
- ⑧ 敦賀セメント(株) 敦賀工場
〒914-8686 福井県敦賀市泉2-6-1
TEL.0770-22-1100
- ⑨ (株) デイ・シー 川崎工場
〒210-0854 神奈川県川崎市川崎区浅野町1-1
TEL.044-322-5360

中間処理工場

- ① 土佐事務所 〒780-8021 高知県高知市孕東町25 TEL.088-833-1231
- ② 秩父太平洋セメント(株) 秩父工場 〒368-0005 埼玉県秩父市大野原1800 TEL.0494-22-1300
- ③ (株) ナコード 袖ヶ浦リサイクルセンター 〒299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖44 TEL.0438-60-8815

支店(環境事業営業部)

- 北海道支店 〒060-0004 北海道札幌市中央区北四条西5-1-3 日本生命北門館ビル7F TEL.011-242-7183
- 東北支店 〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町1-23 アーバンネット勾当台ビル8F TEL.022-221-6211
- 中部支店 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-8-12 伏見KSビル7階 TEL.052-218-3324
- 北陸支店 〒920-0919 石川県金沢市南町5-20 甲南アセット金沢百万石ビル8階 TEL.076-234-2770
- 関西支店 〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町4-1-3 御堂筋三井ビル11F TEL.06-6205-8616
- 四国支店 〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル8F TEL.087-863-6659
- 中国支店 〒730-0811 広島県広島市中区中島町3-25 ニッセイ平和公園ビル10F TEL.082-504-8617
- 九州支店 〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉1-2-25 キャナルシティ・ビジネスセンタービル6F TEL.092-263-8465

 太平洋セメント株式会社

環境事業部

〒112-8503 東京都文京区小石川一丁目1番1号 文京ガーデン ゲートタワー
TEL. 03-5801-0402 FAX.03-5801-0412
<https://www.taiheiyo-cement.co.jp>

2026.04.M (Ver.2026.1)

都市ごみ焼却残さの

セメント資源化システム

 太平洋セメント株式会社

都市ごみの焼却残さ（焼却灰とばいじん）を、セメントの原料としてリサイクルするシステムです。

セメント資源化システム

セメント資源化システムとは？

家庭から出る都市ごみを清掃工場で焼却した際に発生する焼却残さ（焼却灰とばいじん）を既存のセメント工場でセメントの原料として利用するシステムです。

本システムでは、埋め立て処分されている焼却残さが、セメント原料として有効利用されるので、最終処分場の延命化が図れます。

焼却残さには、異物、塩素等のセメント原料として望ましくない成分が含まれていますので、焼却灰の異物除去設備及び水洗設備あるいは、ばいじんの水洗設備でこれらをあらかじめ除去してセメント原料化します。



セメントと焼却残さの化学成分（例）

種 類	セメント主要成分（%）					塩素Cl（%）
	酸化カルシウム CaO	二酸化けい素 SiO ₂	酸化アルミニウム Al ₂ O ₃	酸化第二鉄 Fe ₂ O ₃		
セメント※	60～66	21～25	5～8	3～5		0.005～0.01
焼却残さ	焼 却 灰	23	27	14	6	1.1
	ばいじん	36	11	6	1	15

- 焼却灰とは
清掃工場から排出される燃えがらで、主成分として、セメントの構成成分である二酸化けい素(SiO₂)、酸化カルシウム(CaO)、酸化アルミニウム(Al₂O₃)などを含みますが、金物などの異物も混入しています。
- ばいじんとは
都市ごみを焼却した際に排ガスとともに運ばれ、集じん機によって集められた微細な灰です。主成分は焼却灰と同じですが、セメントにとって好ましくない塩素が10～20%含まれています。また、ダイオキシン類及び重金属類も微量含まれています。

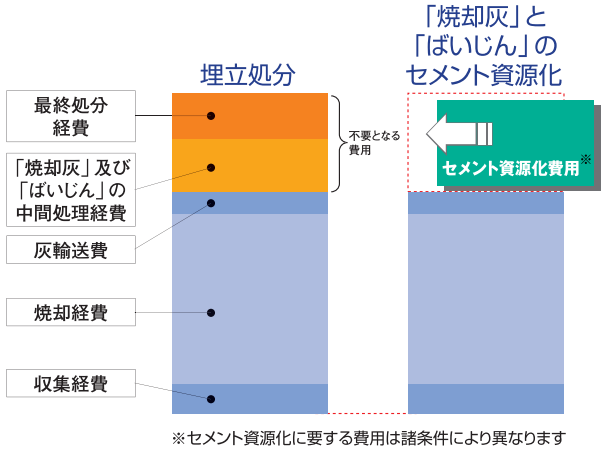
リサイクル製品（セメント）の品質・安全性

ばいじんに含まれている微量のダイオキシン類は、焼成用ロータリーキルンの1,450℃の高温焼成中に安全に分解されます。

焼却残さの使用率は、原料全体の数%以下に抑えています。このため、セメントの品質は全く損なわれず、また、重金属含有量も全く問題の無い範囲に管理することができます。

経済的合理性

- 生産量の大きなセメントの原料として都市ごみ焼却残さを大量にリサイクルすることにより、既存の最終処分場の延命が可能となり、新規処分場建設のための費用を軽減できます。
- 最終処分場への埋め立てに必要な重金属安定化処理などの費用が不要となります。



※セメント資源化に要する費用は諸条件により異なります

地球環境への貢献

- 最終処分場の延命だけでなく、石灰石、粘土などの天然資源の使用量削減を通して、循環型社会に貢献します。
- ダイオキシン類は1450℃以上の焼成用ロータリーキルンの中で完全に分解されるため、製品のセメントには全く混入しません。

